

7人の
議員が登壇

一般質問

町の考えを問う

9月定例会では7人の議員が登壇しました。
ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。
また、それぞれの議員のQRコードより一般質問の録画放送がご覧頂けます。

質問議員	質問事項	ページ
しみず ゆみこ 清水 由美子	◎生涯現役社会への施策は	9
きたくら よしひろ 北倉 義博	◎9期介護保険事業の全体像は	9
みずたに くみこ 水谷 久美子	◎認知症検診・条例の創設を ◎団活動とAED備品の改善を ◎パートナーシップ制度の導入は	10
おおはし みち子	◎小学校の今後のあり方は	11
はやさき ゆりこ 早崎 百合子	◎中学校の部活動地域移行は	11
いわたが よしひと 岩永 義仁	○テレワーク施設ヨロフィスの運営は ◎小学校の統廃合は ◎中学校部活動の有料化は	12
さの しんや 佐野 伸也	◎災害時の防災体制は	13


【注】○印の内容は編集上掲載しておりません。

令和5年第4回定例会を
12月に開催予定です。
ぜひ傍聴にお越し下さい。

詳しい日程については、「広報よろう」
12月号と町ホームページでお知らせします。
一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴
していただけます。
ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

議会の様子をライブ配信で
見るができます。

養老町議会では、町ホームページまたは
LINEの公式アカウントより定例会の様子を
ライブ配信し、議会当日の様子がご覧頂けます。
また当日は、役場ロビー設置のテレビ
で放映しています。



議会QRコード

生涯現役社会への施策は

町長 「健康づくり研修」を実施



しみず ゆみこ
◆ 清水由美子 議員

人生100年時代は近づいている。健康状態と生きがいは強く関係する。生涯現役で生き生きと住み続けられる町に向けての施策を問う。

問 現時点で当町の高齢者の人口に対する割合と、*生産年齢人口が高齢者を支える割合は。また2030年の推定割合は。

答 現時点では35・7%、1人当たり1・54人。2030年は37%、1・43人となる。

問 国が推進する「一億総活躍社会」の実現に向けて重視している施策はあるか。

答 生きがいを持つて生活するため、介護予防施策は重要であり、「養老シニアプラン21」による介護予防事業を施策として実施している。また社協では、参加や運営ボランティアが生きがいに繋がる「いきいきサロン」などへ補助している。

問 シニア層が学び直してできる制度は。

答 町民大学を開校してきた。

問 生きがいという観点で各事業の連携を深め、わかりやすい形で提示できないか。

答 町ホームページに掲載する方法もあるが、高齢者の方にも利用し易い方法で提供できるように、研究していきたい。



※生産年齢人口とは、生産活動の中心にいる人口層のことで、15歳以上65歳未満の人口が該当する。

9期介護保険事業の全体像は

町長 持続可能で安定的な制度に



きたくら よしひろ
◆ 北倉 義博 議員

団塊の世代が後期高齢者となり社会保障費の負担増や人材不足が見込まれる「2025問題」を間近に迎え介護保険事業の重要性は増大する。

問 今後のサービス量の見込みは。

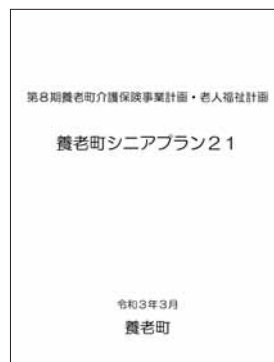
答 近年の給付費の伸び率（1〜2%）を注視しながら、必要なサービスを必要な時に受けられるように努める。

問 給付費の増加を抑制するためには予防事業の拡充が必要不可欠であるが。

答 健康状態に関する危機感を共有し、町民が元気なうちから介護予防や健康づくりに努めていただけるように「介護予防リーダー研修」や「健康づくり研修」などを通じて、介護予防への取り組みを広めていきたいと考える。

問 県内でも保険料が高いことについて、低く抑えようとする考えはあるのか。

答 繰越金と基金を合わせて考えると非常に厳しい運営となっている。他市町の事例を調査研究しながら、持続可能で安定的な制度にしていきたい。



令和5年9月 定例会

こんなことが決まりました 審議した議案とその結果

議案	結果
養老町印鑑条例の一部改正	全員賛成で可決
予 算	
令和5年度養老町一般会計補正予算（第4号）	全員賛成で可決
令和5年度養老町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
令和5年度養老町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
令和5年度養老町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
そ の 他	
専決処分の報告（損害賠償の額の決定）	報告のみ
町道路線の廃止及び認定	全員賛成で可決
同 意 (敬称略)	結 果
教育委員会委員 卯田 友美（再任） 任期 令和5年10月17日～令和9年10月16日	同意
人権擁護委員 野村 亮温（再任） 渡部 秀夫（新任） 早崎 敏（新任） 任期 令和6年1月1日～令和8年12月31日	同意